

授業科目	文化人類学	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(保岡啓子) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	船木祝(教育研究棟 I C703 号) e-mail : s.funaki@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	日常生活における「文化」の諸相を理解し、自分とは異なるさまざまな文化をもつ「他者」を理解するための基本を習得する。他者理解を異文化理解に発展させ、人間社会の多様性を尊重するための基本姿勢や態度を身につける。知識や態度の習得だけではなく、クラスメイトとのディスカッションやグループ・ワーク、リフレクションを通じて洞察力を鍛える。医療人類学の基本的視点と方法論を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 日常生活における文化的な現象を理解し、それについて述べることができる。 日常生活における「文化」とはなにかを説明できる。 「他者理解」の方法を用いて他者と自己について説明できる。 「異文化理解」の方法を用いて異文化と自文化を説明できる。 医療人類学の基本を説明することができる。 		
関連科目	社会学概論、ジェンダー論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業への参加態度	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論参加状況 ・ 質問や発言の状況 ・ グループ討議への積極的な態度
	リフレクション・ノート	50%	
	グループ・ワーク	30%	
教科書	①波平恵美子 編著 [2020 年] 「文化人類学 [カレッジ版] (第四版)」 医学書院		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	他者を知り自分を知る すべての文化にはそれなりの価値がある	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	講義・議論	(保岡)
2	文化としての性と生殖 社会集団と個人	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
3	時の流れと人生の節目 大人になること	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
4	信仰と人間存在の意味 分類して世界を認識すること	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
5	病いがしめすもの 病人になることと治すこと	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
6	人の死生観 死体処理からみる人の死	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃

7	医療人類学の基礎: グローバルヘルス	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃
8	医療人類学の応用: 臨床と地域医療	事前: 教科書の該当する章を読む。 事後: 課題に取り組む。	〃	〃